

2014年11月 7日  
JR東日本長野支社

北陸新幹線金沢開業に向け、長野駅と飯山駅の発車メロディを  
それぞれ県歌「信濃の国」と唱歌「ふるさと」といたします。

北陸新幹線金沢開業が迫る中、地域の皆様からの強いご要望を受け、地域活性化の取組みとして、長野駅の新幹線ホーム発車メロディを県歌「信濃の国」、飯山駅の新幹線ホーム発車メロディを唱歌「ふるさと」にいたします。両駅をご利用されるお客さまに、親しみを持って頂ければと思います。

1 長野駅新幹線ホーム発車メロディ

- (1) 使用楽曲 県歌「信濃の国」(作詞：浅井冽、作曲：北村季晴)
- (2) 使用場所 長野駅新幹線ホーム 11・12番線、13・14番線
- (3) 実施時期 2015年1月頃を予定

2 飯山駅新幹線ホーム発車メロディ

- (1) 使用楽曲 唱歌「ふるさと」(作詞：高野辰之、作曲：岡野貞一)
- (2) 使用場所 飯山駅新幹線ホーム 11番線、12番線
- (3) 実施時期 2015年3月14日

県歌「信濃の国」

1900年に郷土教育を目的として作られた歌。作詞者は浅井冽、作曲者は北村季晴。1968年5月20日の県告示にて正式に長野県歌として制定された。長野地域の地理・歴史・文化について歌っている、「日本で最も有名な県歌」とも言われている。

唱歌「ふるさと」

1914年の尋常小学唱歌として発表された。作詞者は長野県中野市出身の高野辰之、作曲者は鳥取県鳥取市出身の岡野貞一。子供の頃の野山の風景を遠い地から懐かしむという内容で、生まれ故郷から離れて暮らす人の心情を歌っている。